

# 丹後しきしま会の特別栽培米 丹後新羽二重糯 令和4年産

特別栽培とは、化学肥料と化学合成農薬を半分以上減らして作った農産物です。丹後地域では、化学肥料（窒素成分）で4kg、化学合成農薬（成分数）を9成分までに抑えて作ります。有機肥料や完熟堆肥を使い、農薬の回数を減らすために稲を健康に保つ工夫を重ねた、手間ひまかけた、安心安全なお米です。

生産者名	
住所	京丹後市網野町新庄604
氏名	小石原 光範
連絡先	0772-72-1047

農林水産省新ガイドラインによる表示	
特別栽培米	
節減対象農薬	当地比5割減(使用回数)
化学肥料(窒素成分)	当地比5割減
栽培責任者	丹後しきしま会 三浦 享
住所	京丹後市峰山町丹波920
連絡先	0772-62-0444
確認責任者	(株)三豊 代表取締役三浦 享
住所	京都府京丹後市峰山町丹波920
連絡先	0772-62-0444

化学合成農薬の使用状況		
使用資材名	用途	使用回数
カルタップ塩酸塩	殺虫	1
クロチアニジン	殺虫	1
イソチアニル	殺菌	1
フラメピル	殺菌	1
フェンキトリオン	除草	1
フェントラザミド	除草	1
プロヒリスルフロン	除草	1
シハロホップブチル	除草	1
ペンタゾンナトリウム塩	除草	1

おいしいお米作りは、稲を人と同じように育てる生産者の「人柄」が大切です。種まきをして、発芽、育苗「三つ子の魂百まで」というように苗の良否はその後の生育に大きく影響します。甘やかさず、ひねくれさせず、太くよく根の張った強い苗にしないとけません。

田植えをして、人でいうと小学校入学ぐらいからは、根をしっかり張り、自分で栄養をとり株を張り、体を作る時期に入ります。2~3本で植えた苗が約50日で25本くらいに増えます。

そして、稲の中に小さな穂を作り、丹後の新羽二重糯では通常8月の初旬に穂が顔を出します。そして稲は最後の日とがんばり、約一ヶ月、穂に栄養を送り続けて9月の初旬！ついに丸々と太ったつやつやの新羽二重糯の収穫となります。

丹後しきしま会は、稲を我が子のように育てる農家の集まりです。

一生懸命育てた自慢の新羽二重糯をどうぞよろしく。

